



2025年2月12日

各 位

会社名 日本山村硝子株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員 山村 幸治
(コード番号 5210 東証スタンダード市場)
問合せ先 総合企画部長 木下 元亮
(TEL 06-4300-6000)

**『中期経営計画の上方修正および
資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応のアップデート』の策定について**

当社は、2023年6月に、2026年3月期を最終年度とする『2024年3月期-2026年3月期 新中期経営計画』を、2024年5月に『2024年3月期-2026年3月期 中期経営計画の積極的見直しおよび資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応』をそれぞれ公表しておりますが、本日開催の取締役会において、新たに『中期経営計画の上方修正および資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応のアップデート』を決議いたしましたので、お知らせいたします。

本中期経営計画の2期目にあたる今年度は、ガスや原料価格等が想定よりも低水準で推移し、またガラスびん製品の価格改定の効果が一部寄与することから、2024年11月14日に通期の利益予想額の増額修正をすでに公表しております。今般、本中期経営計画の最終年度となる2026年3月期においても、ガラスびん製品の価格改定の効果や持分法適用関連会社の増益を織り込み、経常利益の計画を上方修正いたします。また、本中期経営計画の順調な進捗を踏まえ、株主還元方針を強化し、今年度から連結配当性向の目安を従来の30%から50%に変更します。

本中期経営計画の上記見直しに併せて、東京証券取引所による「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」の要請に基づき、2024年5月の公表内容をアップデートしております。詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以 上

中期経営計画の上方修正および 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた 対応のアップデート

2025年2月12日



中期経営計画の進捗

- 1期目の2024/3期は事業構造改革の進展により黒字転換。2期目の2025/3期は更新投資の減価償却費の増加等あるも、原燃料調達価格の上昇が想定よりも低位に推移し、ガラスびん製品の価格改定効果により、2024年5月に見直した利益計画を超過達成の見込み
- 最終年度の2026/3期も価格改定効果や持分法適用関連会社の増益を織り込み、利益計画を上方修正。ROE目標5%の達成が視野

グループ経営ビジョンと本中期経営計画の位置付け

フェーズ1 2024/3期～2026/3期

成長に向けた事業基盤の整備

- ・ 財務基盤の整備
- ・ 既存事業を強化する仕組みづくり
- ・ 新しい事業を構築する準備
- ・ 循環型社会の実現に向けた開発
- ・ 従業員が誇りをもって働きたいと思える会社づくり

フェーズ2 2027/3期～2029/3期

持続的な成長に向けた飛躍

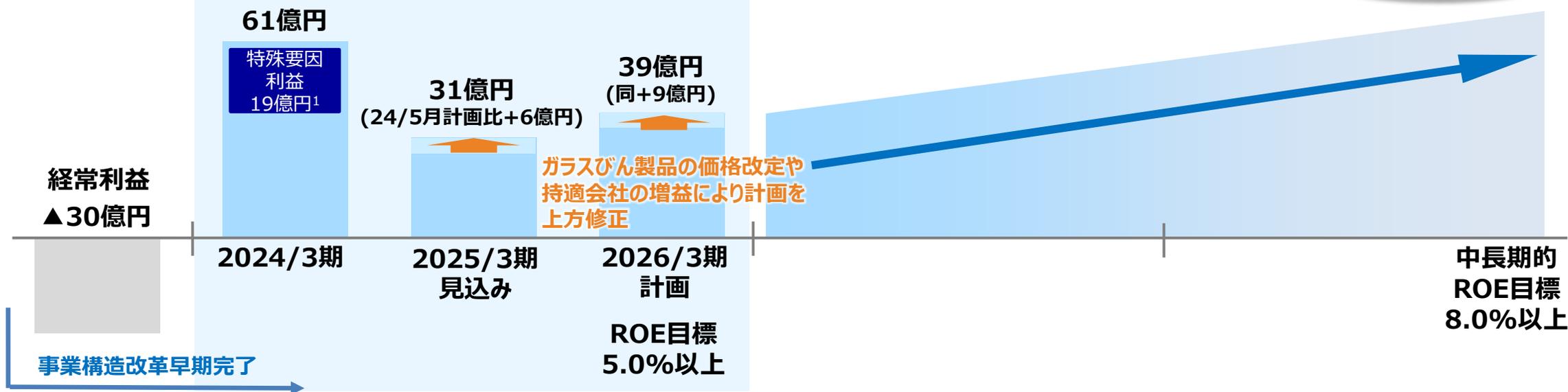
- ・ 成長・新規事業の収益基盤の確立
- ・ グローバルビジネスの拡大
- ・ 環境対応技術のビジネス展開

フェーズ3 2030/3期～

グループ経営ビジョンの実現に向けて

- ・ 循環型社会の実現に貢献する会社へ

グループ経営ビジョン
「100年先も必要とされる会社」



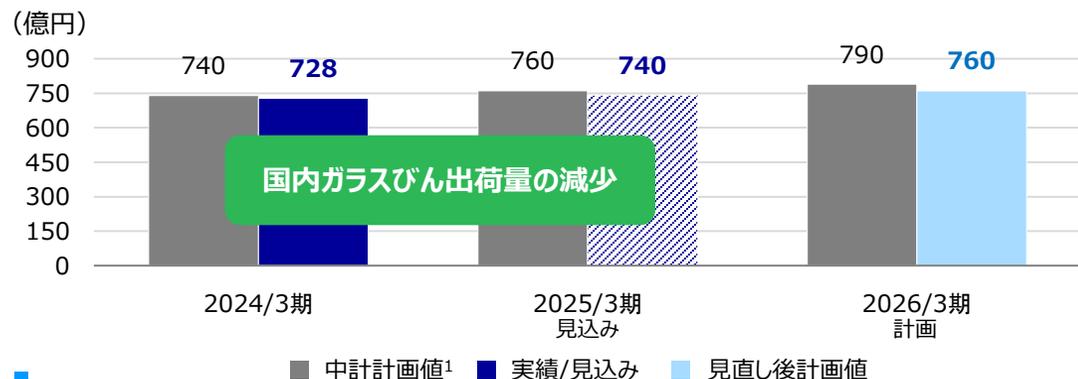
1. 海外関連会社への貸付金全額返済等

中期経営計画の上方修正

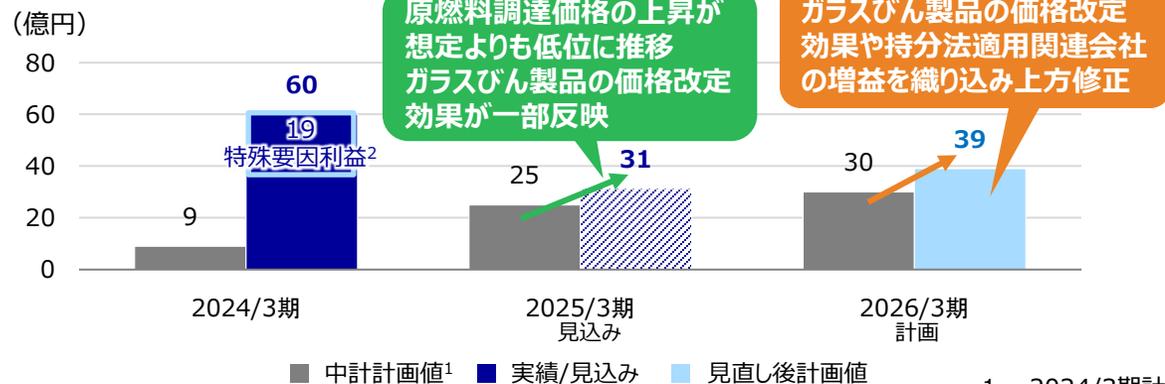
- 2024年5月、事業構造改革の進展に伴い、2025/3期および2026/3期の当初利益計画の積極的見直しを実施
- 2025/3期の見直し後利益計画の達成見込みを踏まえ、今般、2026/3期の利益計画を上方修正するとともに、2025/3期より連結配当性向を30%から50%に引き上げ

本中計期間の売上高・経常利益と数値目標

売上高



経常利益



数値目標

項目	指標	2025/3期 見込み	2026/3期 計画 (変更前 ³)	2026/3期 計画 (変更後)	中長期目標
業績	売上	740億円	790億円	760億円	
	経常利益	31億円	30億円	39億円	
資本効率	ROE	4.3%	5.0%以上	5.0%以上	8.0%以上
	自己資本比率	58.9%	50%台目安	50%台目安	
	設備投資	42億円	3ヶ年累計150億円	3ヶ年累計160億円	
株主還元	12億円	5億円	15億円		
	1株当たり115円 連結配当性向50%目安	1株当たり50円下限 連結配当性向30%目安	1株当たり50円下限 連結配当性向50%目安		

1. 2024/3期計画値は2023年6月公表の当初計画、2025/3期および2026/3期計画値は2024年5月公表の見直し計画
2. 海外関連会社への貸付金の全額返済等 3. 2024年5月公表の見直し計画

株主還元方針の見直し

- 2024/3期に復配。2024年5月、1株当たり配当金50円を下限、連結配当性向30%を目安に配当方針を設定
- 今般、本中計の順調な進捗や2026/3期の利益計画の引上げを踏まえて、株主還元方針を強化。2025/3期から連結配当性向50%を目安とし、利益成長に応じた継続的な配当額の増加を目指す方針

株主還元方針

従来の株主還元方針（2024年5月公表）

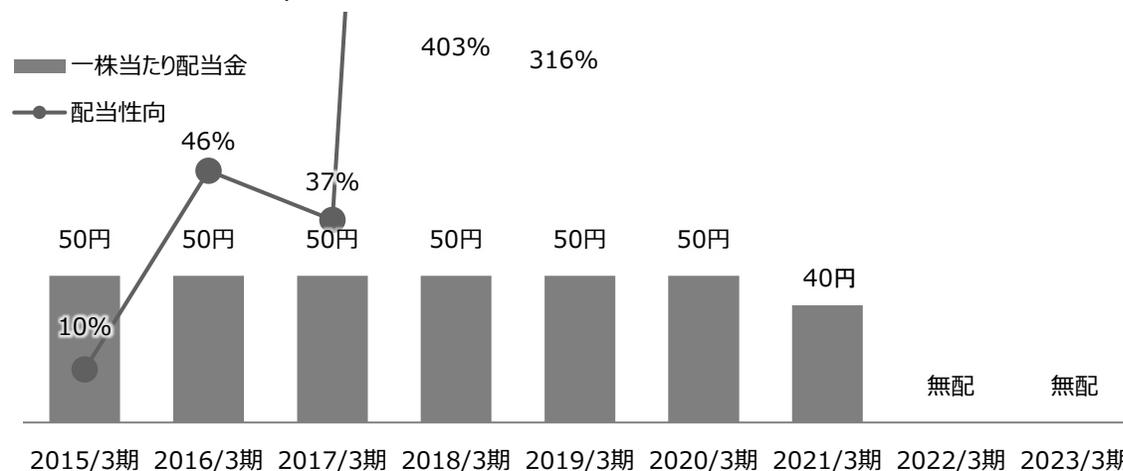
- 連結配当性向：**30%**を目安とする
- 1株当たり配当金：**50円**を下限として設定

見直し後の株主還元方針（2025/3期より適用）

- 連結配当性向：**50%**を目安とする
- 1株当たり配当金：**50円**を下限として設定

配当実績

- 業績に応じた配当を継続的に行うことを基本に、投資や財務状況等を総合的に勘案しながら、積極的に株主に利益還元する方針
- 業績が改善した2024/3期に3期ぶりに復配。記念配当20円を含む50円



配当方針

本中期経営計画

次期中期経営計画～

115円

連結配当性向
50%目安

1株当たり配当金
50円を下限

50円

20円

30円

4%

2025/3期 見込み

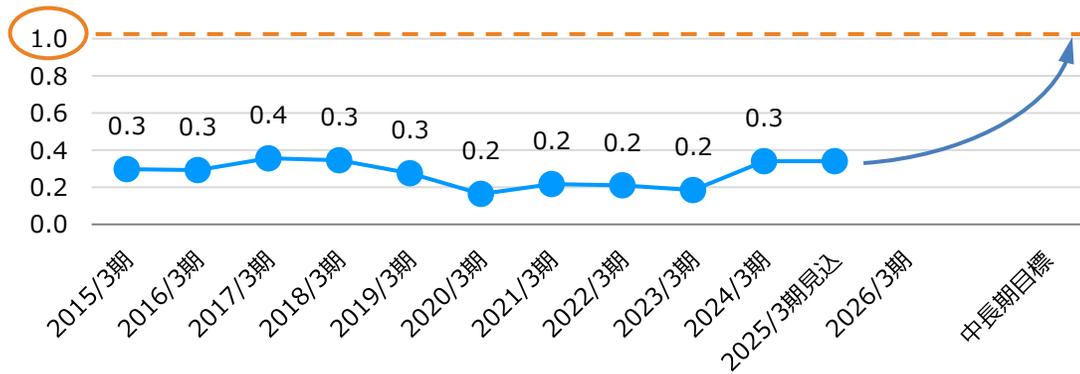
2026/3期 計画

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応のアップデート

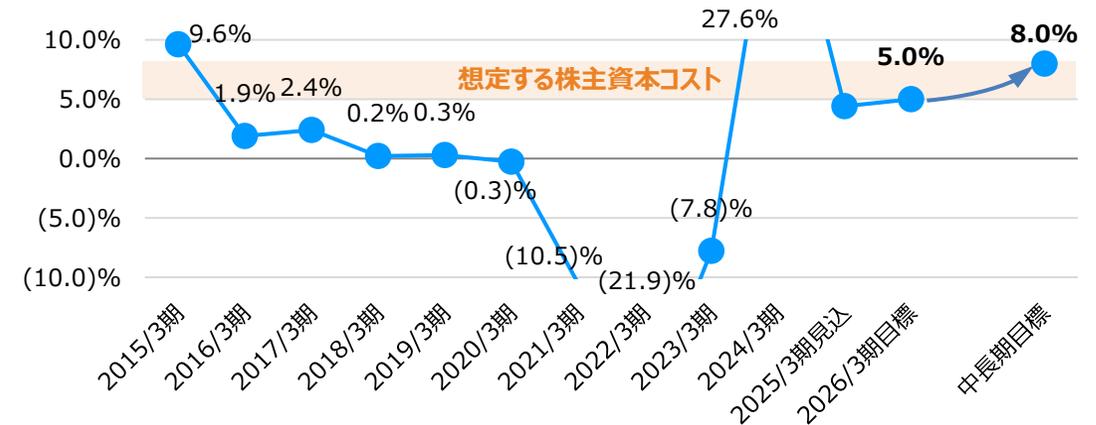
- 本中計開始以降、利益創出の安定性は向上も、PBRは引続き1倍を下回って推移。ROEは2026/3期目標の5%達成は視野に入るも、中長期目標8%達成のためには事業戦略、資本政策ともに更なる取組みが必要と認識
- 本中計では引き続き、資本収益性の向上と株主資本コストの低減に向けた取組みを継続し、企業価値の向上を目指す

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

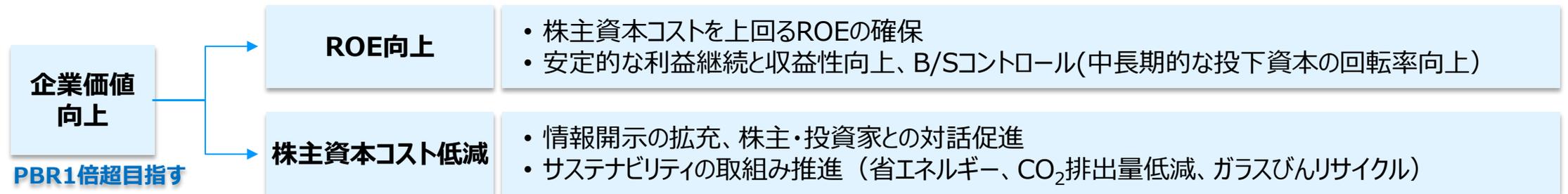
現状認識：PBR



現状認識：ROE



企業価値向上に向けて



- 本資料は情報の提供を目的に作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 掲載内容について注意を払っておりますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が本資料発表日現在において入手している情報および合理的であると判断される一定の前提に基づいており、当社としてその実現を保証するものではなく、実際の業績はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料における情報につきましては、各自の判断、責任においてご利用いただきますようお願いいたします。
- 本資料利用の結果生じた、いかなる損害に関しても、当社は一切責任を負いません。
- 当社の許可なく本資料の全部または一部を複製、転写等により使用することを禁止いたします。



日本山村硝子株式会社

Heart & Technology